

一条小学校「学力・学習状況」改善プラン

一条小学校長 坂東進 

- 1 学力向上推進員 職・氏名 (教諭 山本 治彦)
 2 学力向上検討委員会構成

職名	氏名
校長 教頭 教諭 教諭 教諭	坂東進 稲居敬夫 大坂喜昭 森岡ゆかり 山本治彦

3 現状・課題

学力	<p>昨年度の校内学力調査結果から、以下のようなことが言える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科・算数科合計の学力では、ほぼ全国の平均値である。 ・国語科・算数科合計の学力分布は、ほぼ全国の平均値である。 ・国語科・算数科合計の学力分布は、中間層のはみ出しが多く、最上位層はほとんどいない。 ・国語科では、全国平均値とほぼ同等まで改善したが、「書くこと」「読むこと」の領域に課題がある。 ・算数科では、全国平均値とほぼ同等を維持しているが、下位層のはみ出しが多く、全体的に「数学的な考え方」の領域に課題がある。 <p>これらのことから、国語科では「書くこと」と「読むこと」の指導の改善に全校的に取り組む必要がある。また、算数科においては、「数学的な考え方」を育てるための指導方法の改善を考える必要がある。</p>
学習状況	<p>「家庭学習のありかた」についての研究を進め、学年や個々の児童にあった家庭学習の方法を提案し、各家庭へのリーフレットを配布している。リーフレットを定期的に配布点検し、計画が実践できるようにしていく必要がある。</p>

4 目標等

(1) 学力について

重点目標：国語科学習に対する興味・関心を高め、「書くこと」「読むこと」の学力の向上をめざす。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
個々の児童に応じた指導を徹底する。	校内学力テスト標準得点 55 以上の割合を、27 % 以上にする。	少人数指導・放課後教室・学力向上推進事業を充実させ、個々の学力にあった学習を展開する。	個別指導時間の不足により達成できた学年が少ない。 4・3・②・1	個別指導の時間を取ったり、授業時間を有効に使うことで補充学習の時間を確保していきたい。
「書くこと」「読むこと」の力を高めるための指導の工夫・改善	国語科校内学力テスト標準得点 55 以上の割合を 25 % 以上にする。	日々の日記指導、読書指導等の充実とともに、全校で年間を通して「書くこと」の指導の時間を特設し指導にあたる。	書くことへの苦手意識からか達成できなかった学年がある。 4・3・②・1	読書活動のさらなる推進とともに、暗唱やスピーチ、視写や作文の指導にもっと力を入れていく。
「数学的な考え方」を育てるための指導方法の工夫・改善	算数科校内学力テスト「数学的な考え方」正答率を 65 % 以上にする。	少人数指導・TT指導の充実を図るとともに、自力解決の時間の確保等指導方法の工夫・改善を図る。	達成できた学年が多いが、自己解決力の個人差が大きい。 4・③・2・1	自己解決のためのヒントカードや図を工夫する。教具を有効に利用し、思考力を深める手立てを考える。

(2) 学習状況について

重点目標：一人ひとりにあった家庭学習の充実を図る。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
家庭学習の計画を立て、実践できる児童を育成する。	家庭学習の計画に沿って実践している家庭を 8 割以上にする。	「家庭学習のありかた」リーフレットにそって計画し、実践できるように定期的に配布・点検していく。	低学年はほとんどの児童が習慣となり達成できた。 4・③・2・1	家庭との連絡を密にするともに、学年だより等で周知するなど保護者の意識を高めていきたい。

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。